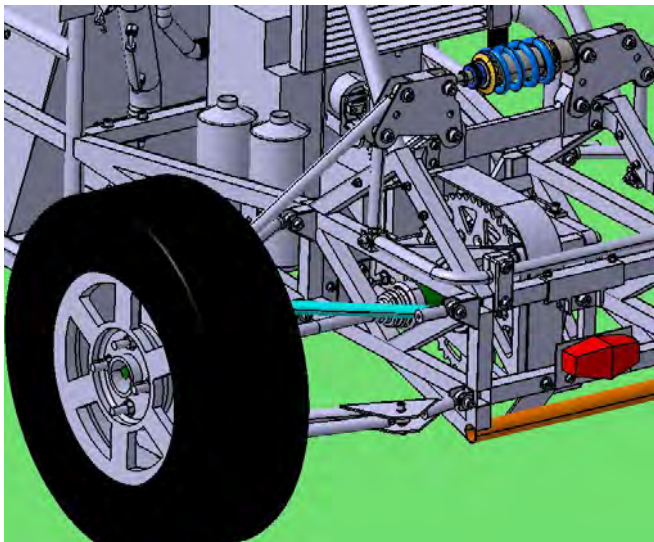
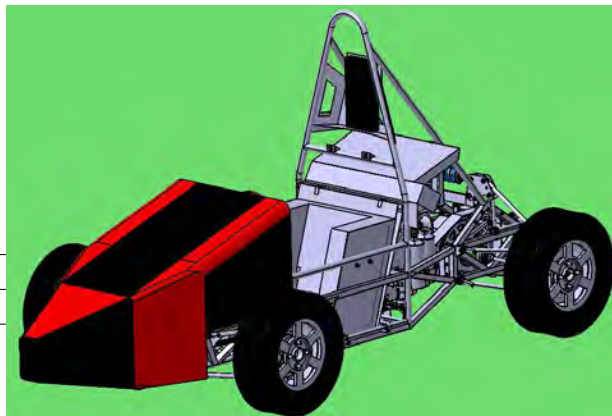


## TEAM STAR 2015

TEAM STAR 2015

<http://ameblo.jp/star-meisei/>

## 悔しさの第13回大会 第14回大会へ



### 今回の総合結果・部門賞

●総合86位

### Profile チーム紹介・今までの活動

12年連続出場となりました。昨年天候に恵まれず出走が叶わなかったエンデュランスを走行し全動的審査を完走すること、また、総合順位35位を目標とし、学年の枠を超え、協力し合い、活動してきました。

### Team-member チームメンバー

#### 田中 遼 (CP)

川原 万人 (FA)、亀井 延明 (FA)、石井 友之 (FA)、江川 庸夫 (FA)、石田 弘明 (FA)、小山 昌 (FA)  
池本 拓也、奥山 裕貴

## Presentation

### プレゼンテーション

TEAM STAR 2015では、「2人で作れ、2人で楽しめるフォーミュラカー」というコンセプトのもと、車両設計を行ないました。改良を続け5年目となった角パイプフレーム、単気筒エンジン(PE06E HONDA CRF450X)、キャブレター、市販の公道用タイヤ、量販店にて入手できるブレーキキャリパーやダンパーを採用。電子制御を用いない機械式のシフト機構、3年目となる前後モノショックによる部品少数化、リヤのシングルブレーキ、削り出し部品の仕様による寸法精度の追求により、コンセプトどおり3人の状態でも素早く整備ができる車両です。特にエンジンまわりは、多気筒エンジンに比べ軽量で、エンジンを取り巻くパーツが少なく、セッティングやメンテナンスにおいて簡略化の可能な単気筒エンジンを採用することにより、効率良い調整が可能です。

車両最大の特徴は、リヤの駆動部品まわりがすべて削り出し部品で構成されており、ドライブスプロケットとドリブンスプロケットを同一平面上に精度よく配置できるほか、チェーンを張る機構を備えたことです。

このような工夫が随所に組み込まれており、規模の小さなチームでも車両製作・組み立て・走行を行なえる車両となっています。

## Participation report

### 参戦レポート

今年度チームは、日程管理ができずついに車両持ち込みなしの大会出場、最下位という結果に終わってしまいました。日程を組みましたが進行状況の確認をせず、遅れに対応できずに車両を完成させることができませんでした。

第13回大会にはフォローアッププログラム参加および、他大学や会場配置をメインに見学という形で参加しました。フォローアッププログラムでは、日程管理の重要性や、コストレポートの基本的な書き方などが確認できました。他大学や会場配置を見学したところ、明星大学ではうまくできていないところをうまくできている大学もあり、とても参考になりました。会場配置はローダーで車両を輸送ということもあり、動的審査に出走するためには早めに静的審査を通過することが必要だと感じました。

大会見学には次年度メインの3年生と2年生で参加しました。2年生の参加の目的は大会がどういふものか知ってもらい、モチベーションをあげることでした。

次年度チームでは日程を立て進行状況との照らし合わせをし、遅れに対応し、遅れのないよう製作をします。早い段階での車両の完成によって大会前に多く試走を行ない、問題点を潰し、ドライバーの技量を向上した上で大会参加をめざします。

最後になりますが、多大なるご支援、ご声援をいただいている企業様、団体様、関係者の皆様、このような結果に終わってしまいお詫びの言葉もありません。来年度は必ず車両を完成させ、大会に出場させていただきますので、ご支援の方よろしくお願いたします。

## Sponsors スポンサーリスト

アースエンジニアリング、アルテック、石河製作所、ウエストレーシングカーズ、岡村タイヤ商会、小島製作所、坂西精機、佐々木工業、ジーテック、真幸電機、ダッソーシステムズ、ドライバーズスタンド府中2りんかん、深井製作所、プレニー技研、本田技研工業、F.C.C.、MYZ、NTN、RAC、RAYZ、SLASH、woodfamily、YOKOHAMA、明星大学同窓会明星会、育星会、明星大学理工学部総合理工学科機械工学系